

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	プロジェクト実習 1	
科目基礎情報					
開設学科	W e bクリエイター科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	120時間
単位数	4単位	授業形態	実習		
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	藤田 祐子／杉山 賢人		実務経験の有無・職種	有・W e bデザイナー／グラフィックデザイナー	
学習目的					
地域連携課題を通してクライアントの抱えている問題や課題を能動的に発見し、デザインによって解決していくこと。「解決型デザイン提案」という行為を調査～ヒアリング～企画～デザイン～提案という一連の流れの中で体感し、社会とデザインの関わりを体感することがねらいである。					
到達目標					
昨今のデザイナーとして必要スキルと言われるコミュニケーション力は、傾聴力や対話力、発言力のみならず事前調査や対象への好奇心も含まれる。本授業では、コミュニケーション力を実践課題の中で高め、その中で自身の気づきを元にしたデザイン企画案を提案することが目標である。					
教育方法等					
授業概要	地域連携課題として、学校外の社会をモチーフに課題を設定する。アイデア出しから企画立案、デザイン制作まで取り組む。特にこの授業では、プロジェクト進行を健全に進行管理するためのものとして位置づけている。よって、自身の制作管理はもちろんだが、適宜進行状況に関する確認を担当教員ととっていく必要がある。				
	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は不合格とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	60%	課題を総合的に評価する		
	成果発表（口頭）	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション／アイデアソン		本授業の概要を理解する。アイデア出しに関する手法のひとつを理解する。		
2回	身近な世界を観察する①		「身近な世界を観察する」テーマで、アイデアを出し、制作に関する計画を立てられる。		
3回	身近な世界を観察する②		テーマ課題に対して、成果を発表することができる。		
4回	地域連携課題①		モチーフとなる地域団体のオリエンテーションを受け、課題概要を理解する		
5回	地域連携課題②		アイデアを出し合うことができる		
6回	地域連携課題③		アイデアをベースに、制作に取り組むことができる。		
7回	地域連携課題④		制作に関するスケジュール管理を適切に行うことができる。		
8回	地域連携課題⑤		制作に関するスケジュール管理を適切に行うことができる。		
9回	地域連携課題⑥		自身の制作と考えを他者に発表することができる。		
10回	プロジェクト課題①		モチーフとなる地域に関する調査を行うことができる。		
11回	プロジェクト課題②		調査をもとに、新しい課題を発見することができる。		
12回	プロジェクト課題③		発見した課題に対して、どのように解決するかアイデアを出すことができる。		
13回	プロジェクト課題④		アイデアを基に、企画を考案することができる。		
14回	プロジェクト課題⑤		企画をもとに、制作スケジュールを立てることができる。		
15回	プロジェクト課題⑥		自身の制作と考えを他者に発表することができる。		